

西

～にし～

Good News 特集号

■山崎高等学校「アクティブ・ラーニング推進校3年目の取組」

本校はアクティブ・ラーニング推進校として、一昨年度から校内における研究授業や研修、他府県の先進校視察を行いました。今年度は推進校3年目として、より多くの教員にアクティブ・ラーニングの指導法を広げることを目指してきました。その一環として11月9日(月)5限に「化学基礎」、6限に「コミュニケーション英語Ⅱ」の研究授業を行い、その後、早稲田大学教職大学院の田中博之教授から講評及びアクティブ・ラーニングの実践例について御講演いただきました。

「化学基礎」では、強酸と弱酸の反応性の違いを粒子の視点から図や言葉でイメージさせ、その後、他の生徒と説明しあう活動を展開しました。難しい課題でしたが、生徒は各自で考えたイメージを意見交換していました。中には、お菓子などの身近な例を用いるなど、独自性の高い考え方ができた生徒もいました。(写真1)

「コミュニケーション英語Ⅱ」では、ALTとともに英会話で授業を開始し、重要構文を楽しく学習した後、本文を理解するという内容でした。生徒は英会話での活動に戸惑いながらも担当教員とALTのサポートにより、あきらめずに少しずつ進めていきました。その甲斐もあり、授業後半に行った教科書本文の理解では質問に積極的に答える生徒も出てきて、教員と生徒が一緒になって課題解決に向かう活動となりました。(写真2)

田中博之教授からは「アクティブ・ラーニング型授業の実践について～新学習指導要領を生かしたこれからの授業づくりと学習評価～」という題で講演をしていただきました。理論だけではなく、数多くの実践事例を写真や動画も織り交ぜながら分かりやすく説明していただき、出席した本校教員や他校の教員からも「アクティブ・ラーニングを取り入れるハードルが下がった」、「今後の授業に生かしていきたい」という声が多数寄せられました。(写真3)

今後も校内での研究授業の実施や定期的な相互授業見学、各教科の取組事例の共有などを行い、アクティブ・ラーニングの手法を広げるとともに、学校全体で授業改善に取り組んでいきます。

(主任教諭・大越 裕紀、教諭・藤原 将起)



写真1 「化学基礎」授業



写真2 「コミュニケーション英語Ⅱ」授業

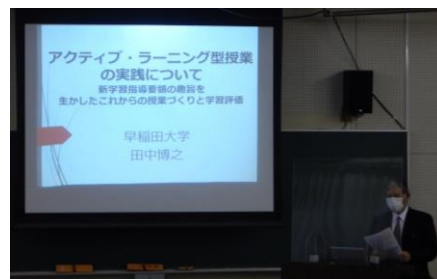


写真3 田中博之教授による講演



東京都西部学校経営支援センター

〒190-0022 東京都立川市錦町4-6-3 東京都立川合同庁舎4階

電話 (管理課) (042) 527-6590

(経営支援室) (042) 527-6980 ファクシミリ (042) 527-6468